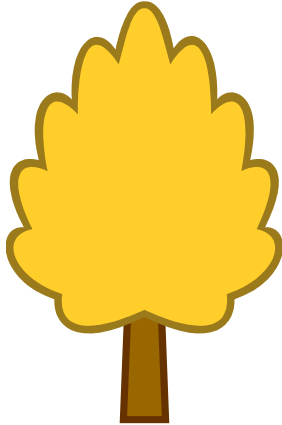




季節を感じる豊かな心 !



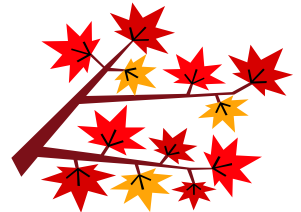
12月に入り、朝晩の冷え込みが一段と厳しさを増してきました。保護者の皆様の健康管理のおかげで、子供たちは「おはようございます」の挨拶で、元気に登校しています。

秋の紅葉はすでに過ぎてしまいましたが、本校にも秋の紅葉を感じさせてくれる木々があります。一つは、校舎前に大きな根を張り、堂々とそびえ立つ大銀杏です。もう一つは、道路と学校を隔てるフェンス沿いにあるもみじです。銀杏は「黄色」に、もみじは「赤」に紅葉します。どちらもとてもきれいで、季節の移り変わりを感じさせてくれます。

そんなすてきな木の葉を子供たちからプレゼントされました。銀杏は「黄色になった葉」と「まだ緑色が残る葉」を、子供は、「どっちがいい?」と聞きながら私にプレゼントしてくれました。もみじは「赤色になった葉」と「黄色になった葉」を子供からプレゼントされました。



植物から季節の移り変わりを感じ、紅葉の美しさを感じることでできる子供たちは、すばらしいですね。校長先生にプレゼントしてくれる子供たちに豊かな心を感じました。このように感じることでできる子供たちは、きっと周りの人への心遣いもできるのでしょうか。教科の勉強以外にも、学ぶ場所のある八日市場小学校はすてきな学校です。



笑顔いっぱいの子ども

銀杏の紅葉はきれいで、子供たちに豊かな心を育ててくれます。しかし、それだけではありません。銀杏の落ち葉も、子供たちに「奉仕の心」や「責任感」、「自覚」などの心を育ててくれています。

この時期、校舎前の大きな銀杏の近くは、落ち葉で覆い尽くされます。でも、大丈夫です。6年生の子供たちが、担任の先生と一緒に、毎朝落ち葉清掃をしています。大きな銀杏の木なので、清掃も簡単ではありませんが、6年生一人一人が黙々と清掃してくれています。学校のため、下級生のために取り組むことで、心が豊かに育っていくと思います。6年生 ありがとうございます。

『大きな銀杏の木さんへ』 勉強の機会をありがとう。